



大空

P T A 広報 第 1 号

令和 3 年 6 月 14 日 発行

若基小 P T A 執行部

令和3年度 若基小PTAスタート！ ～総会中止、新役員・方針等は運営委員会で承認！～

コロナ禍の中での令和3年度がスタートしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度も昨年度と同様、5月の授業参観もPTA総会も中止することになりました。ただ、総会で保護者の皆様に承認されないと、役員交代も、会費の徴収・執行も、通常のPTA活動もできませんので、これも昨年度と同様に、5/12(水)に開催のPTA運営委員会をもって、総会議案を検討し、承認されました。総会の代わりにPTA運営委員会で承認してよいという保護者の皆様の委任状は、155世帯中、140世帯(89.7%)からいただき、過半数を超えましたので、規約第8条に準じて、ここでの決定を総会の決定として見なして参ります。ご協力、ありがとうございました。

今回の議案の特色は、2つあります。①〈8号議案〉での予算案で、昨年度はコロナ禍による景気悪化を鑑み、会費については、「特別会計」から充当し、徴収しませんでした。しかし、これは1年限りの方策とし、今年度は、例年通りに3,000円を徴収しました。各会員様には早速徴収にご協力いただき、ありがとうございました。②また、規約の改正を提案しました。現在、本校PTAには、一般会計と特別会計が存在しますが、その違いが明記されていなかったため、第18条(経費)の(6)に明文化しました。そして、昨年度、創立30周年記念行事の経費をどこから持ってくるか悩みましたので、次回40周年の時の役員皆様が困らないように、その点も、毎年一般会計から3万円ずつ特別会計に積み立てて準備するよう明記しました。

新型コロナウイルスの「第4波」と呼ばれる感染拡大で、今年度も、思うようにはPTA活動が進められないでしょう。しかし、本校PTAの目的「児童の健全なる育成と会員の意識の高揚を図り、民主的教育の発展に寄与する」(本校PTA規約第2条)のために、感染の状況をにらみつつ、その時にできることを粛々と進めていきたいと思っております。会員の皆様、どうかこの1年、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。



5/12(水)PTA運営委員会にて、令和元年度～2年度の2期連続で役員をお勤めいただいた高山さんと戸井さんに感謝状を贈呈しました。本来なら総会場で、会員の皆さんの前で手渡したかったのですが…。本会発展のご尽力に感謝申し上げます！

☆ 新執行部紹介（敬称略） ☆

よろしくお願ひします。



会 長	中川 修平（鳥栖地区 P 担当）		
会 長	龍頭 英理子（学校担当）		
会 長	井上 苑香		
母親委員	佐藤 愛美（鳥栖地区 PTA 母親委員）		
副会長	岸 久美子	副会長	肥山 陽子
書 記	光安 佐知子	書 記	田久保 佐織
会 計	荒牧 紗保理		
地区指導委員会委員長		地区指導委員会副委員長	基山町交通安全指導員
重富 ひろみ		磯山 久美子	江崎 砂織
会計監査	天野 佳子	会計監査	吉田 直子
学校長	本村 一浩	事務局	篠田 桂子（教頭）
地区指導委員会	6区：天本 直美、天本 奈央	12区：三久保 未佳、瀬戸 季世	
	13区：内田 文、小山 菜穂子	14区：迎 麗奈	15区：木原 祐子、兼延 真由美
	16区：藤田 美紀、天野 美幸	17区：重富 ひろみ、磯山 久美子	
顧問：	本 梨沙、吉田 直子		

☆ 会長 あいさつ

<p>会長 中川 修平</p> <p>本年度PTA会長を務めさせていただきます中川です。子供たちが楽しく学校生活を過ごせるよう、僅かながら支援させていただきます。本校2年目の新米PTA会員ですので、至らない点もあるかと思いますが、精一杯努めさせていただきます。よろしくお願ひします。</p>	<p>会長 龍頭 英理子</p> <p>本年度PTA会長を務めさせていただきます龍頭と申します。昨年に続きコロナ禍の中ですが、PTA活動を通じて子供たちが安全・安心に過ごせる環境づくりをサポートしていきたいと思っております。至らない点もあるかと思いますが、1年間よろしくお願ひいたします。</p>	<p>会長 井上 苑香</p> <p>本年度PTA会長を務めさせていただきます井上です。初めての大きな役なので、至らない所も沢山あるかと思いますが、精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
---	--	--

☆ 学校長あいさつ

本村 一浩

「もはや有事、戦時中と同じですよ。」これは、テレビでニュース解説する、どなたかが言われた言葉で、大きく肯いてしまいました。我々国民の生活、特に移動面や経済面が厳しく制限されて（諸外国の「ロックダウン」ほどではありませんが）不自由さを増し、テレビの報道番組では、毎日の感染の状況、ワクチン接種の進捗などに終始し、新型コロナウイルスの感染が広まる以前のことは遠い昔の出来事のように。

学校は、「人が集まる所」と言うより、「人を集める所」だと認識しています。1人での学習をいくら積み重ねようと、望ましい成長は叶いません。学校とは即ち、級友や上級生・下級生に揉まれながら、地域住民の方々のご支援を受け、集団の中で個の人格を磨いていく場所です。1つの建物の中に250人ほどが生活していますので、感染のリスクはゼロにはなりません。ただ、私たち教職員は、文部科学省はじめ、多くの識者が言っておられる「子供たちの学びを止めるな。」というメッセージに強く賛同いたします。これまで若年層への感染は少なかったのですが、変異株は全世代に感染が広がっています。かといって子供たちの学びを止めることには賛成しかねます。危機管理の意識を高くして、できる限りの対策は取って学習活動、PTA活動を進めていきたいと思ひます。